

IV 「生活安全（防犯を含む）の充実」  
に向けた取組  
実践協力校：石巻市立万石浦小学校



# 「生活安全（防犯を含む）の充実」に向けた取組

石巻市立万石浦小学校

## 1 ねらい

- ① 不審者が本校敷地内や校舎内に侵入した際、教職員が児童を安全に避難させるため、不審者侵入想定避難訓練を通して、不審者に対する防犯意識を高め、冷静に行動できるようにする。
- ② 不審者侵入想定避難訓練を通して、職員間の連携や役割分担などの共通理解を図り、児童が安全に避難できるようにする。



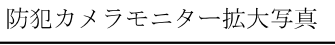

## 2 テーマ

- ・防犯カメラやタブレット端末、トランシーバーを活用した不審者侵入想定避難訓練

## 3 指導時数

- ・1時間

## 4 指導の流れ

時間	☆職員	○1階の担任と児童（1年生） ◇2、3階の担任と児童
9:30	・担任は担当児童に防犯訓練についての事前指導を行う。（ねらいと基本的な行動などについて）	
9:35	「ただいまから防犯訓練を行います。」と放送で周知する。【教頭】	
9:35	<p>☆ 教頭が東門から侵入した不審な者を、東昇降口の防犯カメラで発見し、校長に報告する。</p> <p>校長は、侵入者が明らかに挙動不審なことから、すぐに本部を立ち上げるよう指示する。職員に1階の施錠確認をするよう指示する。</p> <p>☆ 校長は、教頭と用務員に東昇降口に行き、内側から不審者の動きを確認するよう指示する。</p> <p>☆ 教頭と用務員は東昇降口に向かう。（さすまたとトランシーバーを持参）</p> <p>☆ 校長が事務に警察への通報と校内緊急放送をするよう指示する。</p> <p>☆ 教頭と用務員がドア越しに不審者に声をかけたところで押し問答になる。不審者対応を開始する。</p>	<p>○◇2時間目の授業を行っている。</p>  <p>東昇降口の防犯カメラ</p>  <p>防犯カメラモニターで不審者を発見</p>  <p>防犯カメラモニター拡大写真</p>
9:37	<p>☆ 職員室にいる教員による緊急放送</p>  <p>全校緊急放送の様子</p>	<p>○◇担任は「全校放送」から、異常事態を判断。児童を掌握し、安全を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教室前後の入り口の鍵を閉める。</li> <li>② 教室等に児童が全員いるか確認する。その場にはいない児童がいる場合は、クラスルームに情報を載せ、校長に報告する。児童が全員いる場合は、報</li> </ul>

	<p>☆ 主事は、放送後、グーグルのクラスルーム（以下、クラスルーム）を立ち上げる。各担任へ不審者の位置情報を発信する。</p> <p>※ 児童の安全確認や不審者の位置情報は、クラスルームを通して行う。但し、不審者が校舎内に侵入した場合は緊急対応となるので、職員への連絡は、トランシーバーを通して行う。</p>	<p>告の必要はない。</p> <p>③ 窓の目隠しを行う。</p> <p>④ バリケードを作る。（児童も可能な範囲でバリケード作りに参加する。）</p> <p>⑤ 教室内に児童がいることに気付かれないよう静かに待つ。</p> <p>◇ 児童の安全確保の後、どちらかの学級の担任は不審者対応にあたる。</p>
<p>9:38</p> <p>9:41</p> <p>9:43</p>	<p>☆ 養護教諭は、不審者対応の教員にけが人が出た場合、必要に応じて処置をする。</p> <p>☆ 不審者対応の教職員は自身の安全を確保しながら、不審者が校舎内に侵入することや児童に近付くことを防ぐ。</p> <p>☆ 主事はクラスルームを使用して不審者がいる場所を児童を見守る職員に伝え情報を共有できるようにする。校舎内へ侵入した不審者をトイレ付近で警察が確保する。</p>	<p>◇ 不審者対応職員は、さすまたなどを持って警察が来るまでの間、複数で対応する。</p> <p>○◇ 児童を見守る担任と支援員は児童を落ち着かせる。また、児童の健康状態の確認を行う。</p>
<p>9:55</p>	<p>【防犯教室】 場所：体育館</p> <p>警察の方からのお話の主な内容</p> <p>① 不審者に遭遇しないために</p> <p>② もし不審者に遭遇してしまったら</p>	



完成したバリケード



廊下に設置してある「さすまた」



研修会の様子

※放課後、職員による防災教育研修会を開催する。  
研修会では、不審者対応訓練の振り返りを行い、成果や課題について考えを共有する。

5 成果

- ・東北工業大学の小川和久先生からの助言を受け、不審者の対処法について事前に知ることができた。
- ・不審者に対応している職員同士の連携がよかった。
- ・教室の施錠がしっかりできていた。
- ・警察との連携ができていた。緊張感をもって訓練ができていた。

6 課題

- ・様々な場面を想定して訓練をする必要がある。（体育館での授業時や休み時間等）
- ・出張等で職員が手薄な時も対応できるようにしておく必要がある。
- ・「警察が来るまでの時間稼ぎをいかにするか」という視点が大事である。
- ・防犯カメラのモニターが見えにくい位置にあるので、見やすい位置に変更する必要がある。
- ・地域と連携した取り組みの推進を今後も進めていく必要がある。
- ・「離れる・逃げる・知らせる」、その上で「いかのおすし」を意識すると児童は対応しやすくなるとのこと。このことを生かしていく必要がある。